

内閣府特命担当大臣挨拶

2014年12月9日に行われた、食品安全委員会第541回会合に、食品安全担当大臣である有村治子大臣(当時)が出席され、冒頭にご挨拶をいただきました。



▶ 有村大臣挨拶

内閣府特命担当大臣として食品安全を担当しております有村治子です。

食品安全委員会は、一昨年10周年を迎え、これまで1,700以上のリスク評価を重ねて来られたと理解いたしております。初代の食品安全担当の谷垣大臣から10年余の中で、熱心な回数を重ね、内容ある御提言を国民生活に還元していただいていることに感謝申し上げます。

熊谷委員長を始め、専門委員の方々、委員の先生方、また事務局職員の同士の皆様も御尽力を重ねて来られたと思います。食品安全の担当の大臣として、また、子供たちの未来を預かる家庭の一員としても、大変重い関心を持っております。国の要諦は、国民の胃袋を安全に継続的に満たし続けることにあると思っております。食品安全、また食の安全保障、双方の観点からの安全と安心を

有村治子

内閣府特命担当大臣
(消費者及び食品安全担当)



届けることは、主権者たる、納税者たる国民の皆さんへの第一義的な職責だと私も理解いたしております。そういう意味で、中立公平な立場からリスク評価を行い、その説明責任や、適切なタイミングでの適切な情報、あるいは判断を出していただくことによって、その信用が高まっていくことも、次なる10年に向けての私たちの大事な仕事だと思っております。消費者庁、厚生労働省、農林水産省などと連携をしていただくことによって、食品の安全性、もって日本の行政の安全性、あるいは信頼性が高まっていくことに、寄与できればと願っております。
※2014年12月24日から山口内閣府特命担当大臣が担当しています。

内閣府副大臣、大臣政務官挨拶

2014年10月7日に行われた食品安全委員会第532回会合に、食品安全担当の赤澤内閣府副大臣(当時)と越智内閣府大臣政務官(当時)が出席され、冒頭にご挨拶をいただきました。

▶ 赤澤副大臣挨拶

このたび内閣府副大臣、消費者及び食品安全行政を担当することになりました、赤澤亮正です。

わが国の食品安全行政は、国民の健康を最優先とするリスク分析という考え方に基いています。リスク分析は、リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーションの3つからなり、リスク評価とリスクコミュニケーションの2つを担う食品安全委員会は、リスク管理を担う農林水産省や厚生労働省とうまく連携し、食の安全につい

赤澤 亮正

内閣府副大臣
(消費者及び食品安全担当)



での問題を解決していただきたいと思っております。

また、政治の職にある者として、食の安全全体を国民の皆様のために十分に確保していききたいとの決意を併せて申し上げます。挨拶とさせていただきます。

※2014年12月25日から平内閣府副大臣が担当しています。

▶ 越智政務官挨拶

このたび食品安全担当の大臣政務官を拝命いたしました越智隆雄です。

食品安全委員会は発足後、毎週会合を重ねられ本日で532回目と伺いました。わが国の食品の安全を確保するため、取り組んでこられた皆様に心から感謝申し上げます。

引き続きリスク評価機関としての機能を発揮し、関係機関とも連携しつつ、さらなる安全性の向上に努められ

越智隆雄

内閣府大臣政務官
(消費者及び食品安全担当)



ることを期待します。私も担当の有村大臣、赤澤副大臣のもと、食品の安全を確保し、国民の皆様が安心できるよう、食品安全行政を邁進していく所存です。

※2014年12月25日から松本内閣府大臣政務官が担当しています。